

平成 26 年度 木村記念循環器財団事業報告

I. 調査・研究事業

1. 循環器疾患の予防に関する疫学的研究

1) 田主丸住民検診受診者の再検診および予後調査の実施

平成 26 年度は、平成 11 年、21 年に行った住民検診の受診者に対する予後調査を行った。田主丸検診に関しては、手紙や電話による聞き取り調査が主体であったが、直近の平成 11 年と 21 年の大規模検診受診者の生死および発症を調べる目的もあり、対象地区 3 地区のうち、竹野、川会両地区の検診（血圧測定、頸動脈エコー検査、微量アルブミン尿の測定など）を行った。

今年度は、これまでの公民館から各地区に新規建築されたコミュニティセンターで検診が可能となったため、竹野、川会両地区の「まちづくり振興会」の方々にお世話になり、さらに、担当の保健婦の方々も検診の手伝いに来て頂いた。

2) 宇久町住民検診の実施

平成 26 年度の宇久町検診は、7 月 18 日（金）から 20 日（日）まで施行した。参加者は、医師 16 名、検査技師 5 名、看護師 3 名、栄養士 2 名、2 年生から 5 年生までの学生 12 名、さらには整形外科、リハビリテーション部から 10 名の理学療法士を加えた合計 48 名が参加した。検診は例年通り、前日の会場設定、健康教室に始まり、2 日間で、男性 90 名、女性 132 名の合計 222 名の検診を滞りなく終えた。なお、リハビリテーション部からの派遣は、最近、話題になっているロコモティブ症候群の検査を行う目的であったが、時間の関係上、女性のみの検査となった。今後も、トピックス的な検査を導入しつつ、地道に循環器疾患の診断に努め、有所見者の医療機関への紹介を通して島民の健康増進に貢献して行きたいと考えている。

3) 研究成果報告

学術雑誌に英文原著 6 編、和文原著 1 編の学術論文を発表した。

主な英文論文は、学位論文として、Esaki E, et al. Serum vaspin levels are positively associated with carotid atherosclerosis in a general population. *Atherosclerosis* 2014, 233: 248-252.

（一般住民において、血清バスピンレベルは、頸動脈硬化と正に関連する）。

Yoshimura A, et al. Serum uric acid is associated with the left ventricular mass index in males of a general population. *Int Heart J*. 2014, 55:65-70.（一般住民男性において、血清尿酸値は、左室肥大と関連する）。

Obuchi A, et al. High plasma fetuin-A levels are associated with metabolic syndrome among males but not females in a Japanese general population. *Diab Res Clin Pract* 2014, 106:128-135.（血漿フェチュイン-A 値は一般住民の女性でなく男性において、メタボリック症候群と有意な関連を示す）の 3 編を発表した。

さらに、学位論文以外に 3 編の英語論文が掲載予定である。

平成 26 年度の学会発表は、国際学会では、9th Metabolic Syndrome, Type 2 Diabetes and Atherosclerosis Congress (Kyoto) 3 題、国内学会は、福岡県医学会総会 1 題、日循の一般演題 2 題、シンポジウム 1 題、動脈硬化学会 1 題、臨床栄養学会 1 題(Debate)、高血圧学会 1 題など、着々と成果を上げている。

II. 助成事業

1. 第34回個人研究助成の実施

第34回個人研究助成を下記のとおり実施した。

助成額 : 100万円を3件、総額300万円

応募資格 : 循環器疾患の予防および治療に関する臨床的ならびに疫学的研究で独創的研究に取り組んでいる研究者で、応募時の年齢が40歳未満

応募受付 : 平成26年7月1日～9月10日

応募数 : 14件

選考委員会 : 平成26年11月

決定通知 : 平成26年11月

選考委員 : 青木浩樹 久留米大学教授

足達 寿 久留米大学教授

池田久雄 久留米大学教授

石井正浩 北里大学教授

江頭健輔 九州大学教授

小川久雄 熊本大学教授

清原 裕 九州大学教授

朔啓二郎 福岡大学教授

田中啓之 久留米大学教授

筒井裕之 北海道大学教授

福本義弘 久留米大学教授

室原豊明 名古屋大学教授

第34回（平成26年度）木村記念循環器財団研究助成対象者

（五十音順・敬称略）

研 究 課 題	氏 名	所 属
肺高血圧症に対する肺血管拡張薬が脳血流・脳ブドウ糖代謝、認知機能・生活の質・睡眠におよぼす影響～分子イメージングを用いたブロードマン領域別の解析～	井形 幸代	久留米大学医学部 内科学講座 心臓血管内科部門・助教
日本最大規模患者サンプルネットワーク構築を通じた肺動脈性肺高血圧症における long non-coding RNA の機能の解明	片岡 雅晴	慶應義塾大学医学部循環器内科 先進肺高血圧治療学寄附講座 特任講師
高血圧治療が脳血流・脳代謝、認知機能におよぼす影響～分子イメージングを用いたブロードマン領域別の検討～	本多 亮博	久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門・助教

第31・32回研究助成における各研究者の研究成果報告書を集録した「研究助成業績報告集」第22集（平成26年10月20日発行）を刊行し、国立国会図書館、医科系大学図書館および関係研究機関等に配布した。

2. 共同臨床研究助成の実施

- 1) 助成金の交付は行わなかった。
- 2) 平成26年度助成の公募を行ったが、応募は0件であった。

3. 学術会議助成の実施

- 1) 助成金の交付は行わなかった。
- 2) 平成26年度助成の公募を行ったが、応募は0件であった。

III. 啓発事業

1. 市民公開講座の開催

主題：あなたの健康、どう守りますか？～心臓と血管の話～

演者：須田憲治（久留米大学小児科准教授）

田中啓之（久留米大学心臓・血管外科教授）

福本義弘（久留米大学心臓・血管内科教授）

日時：平成26年11月24日 13時～16時 入場無料

場所：久留米市・筑水会館イベントホール

参加者：約75名

共催：久留米大学循環器病研究所

後援：久留米市、福岡県医師会、西日本新聞社、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社（順不同）

※体組成または骨密度の無料検査を講演会終了後に行った（先着50名）。

2. 機関紙の発行

機関紙「若さをつくる」第40号（平成27年3月1日発行）を発行し、関係各機関および一般の方々に配布した。

3. ホームページ

研究助成の募集案内や研究助成業績報告集を掲載し財団の活動を広く周知するとともに、循環器病に関する情報提供を行った。

平成26年4月1日から平成27年3月31日までのアクセス数は5,342件、月平均445件であった。

ホームページアドレスは、<http://www.kimura-kinen.com/>

4. その他

1) 講師の派遣

循環器病予防のための啓蒙活動

健康教室の実施：

平成26年7月に行った長崎県佐世保市宇久町において、検診前夜にこれまでの検診結果の説明や心臓病の予防に関する講演を行った。

「心臓病の原因と対策」

講演者：足達 寿 講演日：平成26年7月18日

IV. 役員会等に関する件

1) 理事会

第1回理事会

開催日 平成26年5月14日

審議事項	第1号議案	平成25年度事業報告及び附属明細書の承認の件
	第2号議案	平成25年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認の件
	第3号議案	定期提出書類提出の承認の件
	第4号議案	特定資産の新規購入の件
	第5号議案	第34回(平成26年度)木村記念循環器財団研究助成事業実施要項及び選考委員の件
	第6号議案	助成金交付審査委員の件
	第7号議案	共同臨床研究助成の件
	第8号議案	定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

報告事項 職務執行状況

第2回理事会

開催日 平成26年10月22日

審議事項 第1号議案 第34回木村記念循環器財団研究助成の助成金対象者決定の件

第3回理事会

開催日 平成27年3月6日

審議事項 第1号議案 平成27年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件

報告事項 職務執行状況

契約職員退職及び新規採用職員について

2) 評議員会

第1回評議員会

開催日 平成26年5月30日

審議事項 第1号議案 議事録署名人の選出の件

第2号議案 平成25年度事業報告及び附属明細書の承認の件

第3号議案 平成25年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）
及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

第4号議案 定期提出書類提出の承認の件

第5号議案 理事報酬総額の件

第6号議案 監事報酬総額の件

第7号議案 評議員報酬総額の件

報告事項 理事会の決議事項の内容について
職務執行状況